

コミュニティ  
No.66

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

# 常盤



## 常盤海岸清掃

空模様が気になる梅雨の最中、七月五日に「環境衛生連合会」の主催で、校区の各団体に呼びかけがあつて常盤海岸一帯の清掃活動が行われました。

毎年行われているこの活動に参加する人の減少傾向があるように思えます。昨年度は、約「二〇〇人」の参加者があり、今回は約「五〇人」と半減しています。

ひと昔前、鍋島が存在のころは、亀浦海岸から黒崎海岸までの広範囲で活動が活発でした。常盤のシンボルであった鍋島も姿を消してしまい、海水浴場でにぎわった海岸も、今ではテトラポットの行列に様変わりし、校区の人には魅力のない海岸になってしまったのだろうか？それとも高齢化なのだろうか？



館長 宮本 協さん

就任のごあいさつ

昨年3月市役所を定年退職しまして、このたび6月から嘱託の館長として常盤ふれあいセンターに勤務することになりました。皆さんご存じのようにふ

れあいセンターはコミュニティ活動の拠点であります。常盤は、今年度から役員も交代があり新役員のもとで地域に早くとけ込み、皆様のご指導をいただきながら、少しでも地域コミュニティ活動の発展にお役に立ちたいと思っております。

前任者同様によりしくお願いします。

宮本 協



社会教育指導員(嘱託) 香田 清美さん

新しい出会いの中で

今までは若い生徒たちの中でパワーを貰って生活してきました。とは言え“学校”という狭い社会でした。

いセンターで、幅広い年代の、色々なご経験をお持ちの方々とは触れ合う機会をいただいております。ワクワクドキドキしています。皆さんとのふれあいの中から“生きがいと力”を貰っています。そして私自身、まだまだ成長できるのではないかと楽しみにしています。

校区の皆さんよろしくお願ひします。

香田 清美

お礼のごあいさつ

校区の皆様、2年間の短い期間でしたが、皆様のご支援、ご協力をいただき楽しく仕事ができたことに深く感謝申し上げます。

また、校区の主要行事では、区民が一丸となり積極的な参加で盛り上がったことは思い出に残ります。この貴重な体験を大切にして、これからの人生に生かしたいと思えます。

常盤の発展を祈り、退任のご挨拶といたします。

中村 洋

変革を願って

多くのひとの素敵な出会い、私の宝物がまた増えました。ありがたいことです。

「地域づくりは人づくり」「人が変われば地域が変わる」と言われます。これから皆さんが手を携えて、人が輝き和やかに生きていける素晴らしい地域づくりを推進されることを願って、お世話になった方々へのお礼とさせていただきます。

江藤 修三

校区新役員紹介

コミュニティ推進協議会

会長 吉武 善一  
副会長 大満 初男  
〃 山田 修  
〃 草野 英明

社会福祉協議会

会長 吉武 善一  
副会長 大満 初男  
〃 山田 修

自治会連合会

会長 下蜀 敏男  
副会長 大満 初男  
〃 山田 修

退任のごあいさつ



前会長 藤永 保成さん

この度、自治会連合会々長を退任いたしました。二十四年の永きに亘り大過なく過ごさせて戴きましたことは皆様の温かいお力添えと励ましによるものであります、心から感謝申し上げます。

昭和六十年に、鉛筆一本・封筒一枚もない常盤校区のスタートでしたが、諸々の団体結成の準備や規約の模索など連日のよう

うに会議を開き、その都度座長を決め、知恵と力を出し合って、翌六十一年五月に初めての校区行事として「大運動会」が開催されたことが常盤のコミュニティの始まりであり、最大の力となったと思います。

昨今では、県外からも常盤の諸活動を視察に来られるようになったことは皆様の郷土愛精神の賜であります。

終わりに、さらなる安心・安全のまちづくりに皆様のご活躍とお幸せをお祈り申し上げます。挨拶とします。

藤永 保成

教室紹介 『プリザーブドフラワー』

こんにちは。皆さんは「プリザーブドフラワー」をご存知ですか。生花のようでも枯れないお花です。今、中高生に大人気のスイーツの飾りを使って、かわいらしく仕上げたり、お年頃の人は自分のブローチを作ったりします。また、大人にはシックで可愛いアレンジメント、オールオブジェなど様々なジャンルで作品を仕上げていきます。夏休みの宿題、

誕生日、記念日などプレゼントに作ってみたいなど思っている方や一日だけの体験も大歓迎です。秋には教室の皆さんが作られた作品を展示したいと思っています。ぜひ、教室をのぞきにいらっしやいませんか。下の写真は、みんなでコサージュを作ったときのもので。わいわい・ガヤガヤと楽しい教室です。皆さんと一緒ににお花で癒され、楽

しい時間を過ごしましょう。教室のみなさんでお待ちしています。

金澤 道子



第25回区民ソフトボール大会  
第25回区民バレーボール大会

ソフトボール

優勝 亀浦西  
準優勝 大沢西の前

バレーボール

優勝 岡ノ辻  
準優勝 後岡ノ辻

上記優勝自治会は、9月6日の宇部市の大会に出場します。

第32回常子連球技大会

ソフトボール

優勝 2・3支部  
準優勝 4支部

フットベースボール

優勝 2・3支部  
準優勝 6支部

ドッジボール

優勝 6支部  
準優勝 4支部

第24回 区民大運動会



みんなで準備体操



おねーさん借りた!



「ちよるる」と南蛮音頭

好天に恵まれて、第24回区民大運動会が開催されました。南蛮音頭の総おどりに、国体マスコットの「ちよるる」も参加しました。

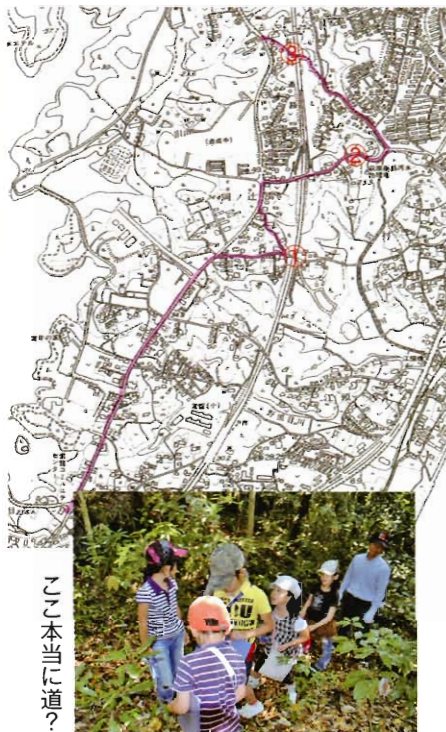


平成21年度 校区主要行事

- 9月21日 校区敬老会
- 10月17日 コスモまつり
- 11月7・8日 校区文化祭
- 1月10日 どんど焼き

平成21年度 スポーツ行事

- 9月6日 市民ソフトボール大会  
市民バレーボール大会
- 10月12日 ニュースポーツフェスティバル
- 10月25日 校区キンボール体験
- 11月15日 区民ソフトバレーボール大会
- 11月29日 市民ソフトバレーボール大会
- 1月16日 市民キンボール体験
- 1月24日 区民インディアカ大会
- 2月14日 市民インディアカ大会



ここ本当に道？

「常盤を学ぶ」がある。  
わくわく常盤の行事で

シリーズ ⑩  
ときわの話  
いろいろ

旧道を  
歩く

今回は、明治時代の地図を参考にして、昔の道を子どもたちと歩いてみた。3ヶ所の道を選んでふれあいセンターから周防・長門の国境を歩き、最初の旧道である三叉路（地図①）へ、床波から上がった、左は亀浦方面、特に

今回は、明治時代の地図を参考にして、昔の道を子どもたちと歩いてみた。3ヶ所の道を選んでふれあいセンターから周防・長門の国境を歩き、最初の旧道である三叉路（地図①）へ、床波から上がった、左は亀浦方面、特に

右は上宇部方面で主要な道だったが、今では知る人も少ない道を進み、「子落とし坂」（地図②）へ、昔は岩道で近道として使われた小道で、背負った子どもが落ちそうになる急坂であった。いよいよ難コースの「迫田の坂」（地図③）に挑戦。床波から船木方面への主要な道で、雨が降るとすべる赤土の坂道、馬に乗って床波に魚を買いに行ったそうだ。

今は、忘れられて通る人もなく雑木林をかき分けて進み大変だった？

日赤募金のお礼

日赤募金にご協力いただき  
ありがとうございました。

募金額 1,245,790円  
(目標額の92.8%)

ぼやき山柳

できてない？  
そんな結婚許せない  
孫々

薄くなる親父の権威と  
テレビジョン

買い物で人妻見つめて  
妻いざこ

七年目

見る目ない  
俺を振って捨てた人

N

私たちの行動で  
救える命があります



自動体外式除細動器  
“AED”をふれあい  
センターに設置して  
います

ペリカンの声

最近の子どもは「外で遊ばなくなった」とか「自分たちが子どものころは一団となつて遊んだものだ」などと言ったら、「大人の認識が根本的に間違っている」と指摘されてしまった。かつての生活環境が現在とは大きく違うことに気づかされたことがある。

自分の子どもころには、家の手伝い、勉強よりも遊びの世界であったことを棚に上げて、目の前の子どもの姿を嘆き、苦言を呈していたのである。子どもが集団で遊ばない環境をつくり、子どもの問題行動を生み出したのも大人であり、この点について大人がその責めを果たす時期に来ている（手遅れ？）。家庭、地域、学校のそれぞれが、こどもの屋外における集団的な活動を魅力のあるもので活性化する努力が必要ではないだろうか。

コミュニティ  
No.67

# 常盤

発行／常盤校区コミュニティ推進協議会

## 2009 校区文化祭



秋の祭典「校区文化祭」が、好天に恵まれて開催されました。芸術の秋らしく文化展には、各教室の作品は勿論、一般区民の作品も沢山の展示があり展示会場はところ狭しの状態でした。演芸も華やかに催されて楽しい一日でした。



ダンスは華麗に

コミュニティ会長の挨拶



環衛連 北九州エコタウンを訪問

十一月四日に環衛連恒例の施設見学を行いました。総勢三十三名で早朝ふれあいセンターを出発して有料・高速を走り、九時二十分頃見学先の北九州エコタウンに到着しました。

家庭から出る資源ごみの分別がいかに重要であるかを参加者全員が再確認しました。

『皆さん、ごみの分別にご協力をよろしく』

野木 靖夫

早速、エコタウンセンターにて事業全体の概要説明を受けて、ペットボトルリサイクル事業と空き缶リサイクル事業の二工場を見学しました。施設の見学で説明されたなかで「資源ごみのリサイクル行程の大半が再分別の行程に費やされる」とのことでした。



エコタウンで勉強しました

校区人権標語入選作

最優秀賞

人権を「考える」から「行動」へ

西中1年 中森 洸希

優秀賞(小学生の部)

ちょっとした勇気で

いじめ止められる

常小6年 佐貫 由佳

ぼくの小さな思いやり

だれかのやくにたてるかな

常小6年 神代 亮太

優秀賞(中学生の部)

常中1年 安井 諒

常中2年 高田 竜義

西中3年 立石 裕子

西中1年 今本健太郎



丸太切り

2009年常盤3世代交流大会

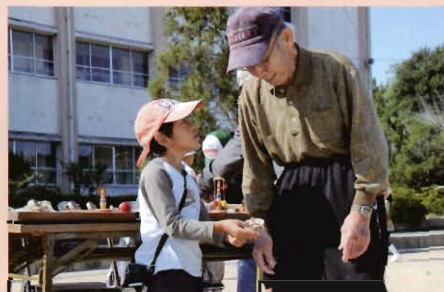
食欲の秋もいけど？  
みんなで外に出て体を  
動かしましょう。



風船飛ばし



お手玉・おはじき



コマ回しを教えて？



昭和の遊び



「まちがかわるか？ひとがかわるか？」と題して、市民生活部地域コミュニティ課長補佐の武田尚文さんの話を聞きました。

住民組織の歴史から地域コミュニティの現状や問題点などの話、地域を取り巻くめまぐるしい変化があり、地域組織の弱体化などで住民のコミュニティ意識は低下することになる。より良い地域活動の推進には、地域内の連携を強め「量より質の時代」へと変化することが求められているようです。

地域づくり研修会

## 常盤区民 ソフトバレーボール大会

### 男子の部

優勝 後岡ノ辻  
準優勝 大沢西後  
3位 役員チーム

### 女子の部

優勝 岡ノ辻  
準優勝 後岡ノ辻  
3位 大沢県営 1,2号棟

### 混成の部

優勝 岡ノ辻  
準優勝 大沢西後  
3位 後岡ノ辻



飛び上がり地蔵の前で

## 亀浦古墳を残そう 清掃活動

亀浦古墳は、昔なら鍋島が見渡せた場所、さらに周防・長門の国境の側にあります。地元でも古墳の存在を知らない人が多いようですが、郷土の歴史を知るうえで貴重な遺跡です。



竹の細工に初挑戦

初めての「ポンプura飯」に挑戦してみました。子どもたちは、竹の釜づくりに、ノコとノミを使って大奮闘で完成。米と炊き込みの具を入れて、焚き火の上に置き、待ちに待って美味しく食べました。

ポンプura飯

## 宇部市地域活動連絡協議会(母親クラブ)

「仲間と楽しみながら校区の元氣作りの仕掛け人になりたい」と、四月に心意気も新たに再スタートした全国組織の地域団体で、愛称が「しゃぼんだま」です。五月「地域を知ろう」と題して飛び上がり地蔵と石炭記念館へ。7月「常盤夏のお楽しみ会」では人形劇や手品などで、大ホールあふれるほどの子ども達の歓声に感激しました。地域と家庭が連

携し、子ども達の健やかな成長への応援と、さらなる明るい校区となるように力を合わせて、地域に根付いた活動を目指していきたいと思えます。

ただいま「仲間を募集中」です、性別や年齢を問いません。人生の先輩方、私達に体験を伝授してください。若者達、私達にパワーをください。活動を通して一緒に楽しみませんか。

坂本 早苗

## 寿 校区敬老会

平成二十一年度の校区敬老会が、湖水ホールで行われ、常盤小学校一年生の青井香奈実さんと六年生の若崎慶太くんが作文朗読で敬老者の皆さんを励ましました。アトラクションは、大正琴、手品などで盛り上がり、最後に「ふるさと」を全員で合唱しました。

## 通学合宿

今回で六回目になる通学合宿も地域の皆さんの理解と協力によって軌道に乗りつつあります。昨年にも参加した子どもたちが音頭をとり、役割担当をうまく利用して、自主的な行動で運営もスムーズに動いていました。

子どもたちは、入浴(もらい湯)を一番の楽しみに行っているようです。買い物も、自分たちで品物を選び、お金を払うわくわく感があるようでした。

合宿を通じてほんの少し成長したかな?



集団生活は楽しい

シリーズ⑪  
ときわの話  
いろいろ

八王子社

常盤小学校の入口付近にある「八王子社」は、蛇神様、まむし神社などと呼ばれているが、これは、八岐大蛇を退治した素戔嗚尊すさのおのみことが祀られていることから地元ではこのように呼ばれている。

八王子社は、享和年間（一八〇一年）に大澤と西論瀨を併せた大澤組みの鎮守の神様として岐波村の南方八幡宮から分社された。

そして、この付近はまむしが多いところで毒蛇の厄払いとして「大判様」を、そして論瀨の農産物の造仏である「三条様」が併せて祀つてある。

まむしの多い所では、八王

子様の祠ほらを造つたり、八王子様の土や砂を撒いたりすると「まむし」がいなくなると言う信仰が宇部周辺にある。こうした信仰から、亀浦、大沢、岡ノ辻などに小さな八王子様の祠がある。



鳥居に文化6年とある

お知らせ

平成22年度小・中学校入学の母子家庭の児童へ図書カードがプレゼントされます。

問い合わせ：宇部市役所こども福祉課家庭福祉係 電話 34-8330

香典返し

次の方から香典返しとして常盤校区社会福祉協議会にご厚志いただきました。

加藤 時恵 様  
ご夫君 春夫 様

原田 鉄也 様  
ご尊父 義治 様

藤本 浩二 様  
ご尊父 義雄 様

武田 郁徳 様  
ご母堂 トミエ 様

西村 富士枝 様  
ご母堂 みさを 様

ぼやき山柳

元氣まで

天引きされた

高齢者  
年金野郎

お迎えが来そうと

言いつつ三十年

?

ほれなおし

あらかん妻に

バラ贈る

K

いい夢も

妻のイビキで

かき消され

夢親父

補聴器を外せば

聞こえる地獄耳

勝爺



癒しのお花畑

第2回コスモスマツリ

「ときわ花広場」のコスモスが満開になり、通りがかりの皆さんの癒しの場に変身です。デイサービスの送迎車もよく止まって皆さんが喜んで観賞されているようです。十月十七日にコスモスマツリも行われ、クイズやゲームを楽しみました。

ペリカンの声

みなさんは、心の中に残っている光景や出来事がいくつあるでしょうか。ペリカンが編隊を作つて飛んでいる、身近なところで大きな飛行機が離着陸する、このような光景が常盤に移ってきた私には心に残る光景です。校区の運動会や夏まつり、文化祭など多くの行事があることにも驚きました。特に子どもたちが参加する行事は、その内容を良く考えて行つてると感心します。そして、これらの行事を支えている校区の人たちには頭が下がります。しかし、人は何事にもすぐに慣れてしまうものですから、その感動や有り難さを忘れてしまいます。そうならないように、いつも初心で行事に参加したいものです。



コミュニティ  
No.68

発行 / 常盤校区コミュニティ推進協議会

# 常盤



## 七草がゆで無病息災



「みどりの会」の皆さんが春の七草を摘み取り、毎年行われる「七草の集い」です。

日頃、ふれあいセンターに来ることもない人も「この七草がゆを楽しみに毎年参加してるんだよ」と話される。「あの人にも、この人にも、一年ぶりに元気な顔で再会ができて涙が流れるんだよ」と、いつまでも続けてほしいそうです。「セリ・ナズナ・・・」と歌いながら七草をきざむ祖母の姿が思い出された。

### 七草がゆ

薬膳料理教室

二月十八日、北京大學

中医学部に在学中の三戸

泰子先生に「更年期の女

性にぴったりの薬膳」を

習いました。難易度大の

講座でしたが、気（エネ

ルギー）・血・水（血液

以外の体液）の三要素を

整えることで不調を改善

し若返ると興味津々な

話。健康であるためには、

①肺を膨らませ深呼吸

②睡眠時の十一時～二時

③生姜（殺菌）・ニンニ

ク（消毒）を毎日食べる

④旬の物を食べ体内を整

える

⑤土からの恵は皮付きの

まま調理する等々。

調理実習は「薩摩芋ご

飯・エビとクルミの炒め

物」でした。

また、先生の手作り

スープは生薬がたっぷり

入っていて体がぽかぽか

になりました。

薬膳料理教室



ふれあい研修旅行

校区の発展とふ

れあいを図るため

に、自治会連合会

が企画した、日帰

りの「ふれあい研

修旅行」に参加を

しました。

センターを

三千一名で出発、一

路「宗像大社」へ！

途中の「神湊ス

カイホテル」で

は玄界灘が一望できる、

十一階の絶景な場所です

食を楽しみ、さらに、ゆっ

くりと入浴、裸のコミュ

ニケーションを図ること

が出来ました。

「あんずの里運動公園」

にも立ち寄り、晴天の中

を散策しました。

宗像大社へ到着し、記

念写真を撮り、少しのお

さい銭で沢山のお願ひ事

をした人、他人のおさい

銭で念入りをお願い？の

人も・・・。

多くの方とコミュニケーション

を有意義な一日でした。



宗像大社にて

第21回どんど焼き



どんど焼きは、小正月の子どもの

行事として、まだまだ各地で盛んに行われていいます。呼び名も地方によって色々で、オンベ焼き、サイト焼き三九郎、左義長、爆竹焼きなど。子どももの頃に一番の楽しみは、竹の先に餅を刺してどんどの残り火で焼いて、一年中病気になるな

いと信じて食べたもので、す。しかし、今はこの地域でも子どもが少なくなつて、子どもの行事であつた「どんど焼き」も、大人の行事になつてしまつたようで、淋しい限りです。昔の遊びを文化ととらえて、地域ぐるみで守る必要があります。

市長と話そう

二月中旬に、「久保田市長と話そう」の集いが設けられた。

市長も、就任して半年であり、地域の事情をすべて把握しているとは考えられない。そこで、このような集いが必要と思うが、感想を一言、今回は、市長と話そうより幹部職員と話した感じが強かつた。今後も、何かの機会に「住民と話そう」の集いを期待したい。

教室  
紹介  
**民舞愛好会**

私達「民舞愛好会」は、例会を第二・四木曜日の午後十二名でお稽古しています。

最初は年齢的に不安もありましたが、やってみると思いもかけず楽しくてやりがいがあります。

岡本康子先生の熱心な指導のもと、皆さん休むこともなく「体を動かすって、ボケ防止になっていいよねえ」と、帰りの挨拶



代わりになっています。

このように楽しい会には是非一度お出かけください。老若男女を問わず入会できます。

世話人 村野 勝子

**地デジ説明会に参加して**

地デジ説明会がセンターで開催された。

来年二〇一一年七月二四日にはアナログ放送が終了し、デジタル放送の対応をしていなければ、テレビが見られなくなってしまう。まだ先の事と思っていたが、ポチポチ対応をしなければと

思い説明会に参加した。

ふれあいセンターの会場は、参加者でいっぱい、それだけ関心を持っていく人が多いということだと思った。

最初に、デジタル化の必要性やメリット等の説明があり、その後地デジの準備について説明があった。

**スキー教室 芸北ユートピアサイト**

『スキーに行つて』

四年 久保 祐太

ぼくは、わくわくスキーに初めて参加して、すごくきんちようしました。そして、友達をさがしていたら一人いました。うれしかったです。バスでスキーに行くのは初めてでしたが、三時間ぐらいバスに乗ってつかれました。

スキー場について、早くすべりたいと思いました。でも、くつとかを借りないといけないから、なかなかすべれませんでした。そして、じゅんぴとかが全部終わって、やっとすべれると思つたら、手がすごく冷たくて少しあたたためてかすべりました。すごくいっぱいすべりました。そして、三時に近いときには、最後の一回ですごく近いコースで、すごく速いスピードですべりました。そして帰るときに、すごくかかれていて三十分ぐらいねて、目がさめたとき、

トムとジェリーがビデオで流れていて、すごくおもしろかったです。トムとジェリーを見ていたらふれあいセンターに着くのがすごく早く感じました。楽しかったです。また行きたいと思いました。



スクールで滑るように・・・

**洋式トイレに改修**

宇部市の方針にて「どなたにも快適に使っていただけるトイレを設けます」ということで、1・2階の女子トイレのみ一部を洋式にリフレッシュしました。



シリーズ⑫  
ときわの話  
いろいろ

飛び上がり  
地蔵様の話

則貞の伝え話

今から百四十年前のことじゃった。長州で戦が始まった。のちに言う長州征伐じゃ。死ぬか生きるかの大事じゃけ、日頃は太田組と亀浦組はしよつちゆう言い争いをしちよつたけど、国境の「論瀬」であねエこねエせんぎをしたが、らちやあかん。「どえらい事になったのオ」と話すだけじゃった、なんちゆうたつて宇部はお田舎じゃけエ。

所が、こねエな話が伝わったのいや。「国境辺にある地蔵様の首を切つたら長州が勝」ちゆう噂が広がったのいや。そのうちに、岐波村の道ばたに祀つちやつた地蔵様のようなつてしもうた。そねエなことがあつてから、福原の殿様から「も

しも敵が国境の鼻に攻めて来たたら、則貞や亀浦の子どもは堤の切貫に隠れよ」と、おふれがあつた。それから地蔵様のことじゃが、誰もが忘れちよつたが、則貞の松本さア方の婆さまが、夢枕に「藪の中に胴体のない地蔵様がある」ちゆうお告げがあつて探すと有つたのいや。そこでじゃ、新しゆう胴体を造つて祀つた。

それから昭和四年のひでのりの折りに、本土手がくえて、堤の底から飛び上がるように現れたのいや。前に見つかった地蔵様の頭と合わせりやピツタシ。そこで新しい地蔵様にも頭を造つて供養したのいや。



常盤池の畔にある地蔵堂

第25回常盤区民  
インディアカ大会

宇部市民インディアカ大会の予選を兼ねて区民大会が開催されました。

男子の部

優勝 北則貞  
準優勝 後岡ノ辻

女子の部

優勝 後岡ノ辻  
準優勝 大沢西後

混成の部

優勝 岡ノ辻  
準優勝 大沢西後

ぼやき川柳

補聴器を外すと  
聞こえる地獄耳  
?

お時間ないときに  
空いたレジー研修生  
主夫連

冷戦中  
妻に内緒の衝動買い  
年金野郎

1億円母がくれたが  
目が覚めた  
NY

我が家計出来ぬが  
仕分けしてみたい  
団地妻

香典返し

次の方から香典返しとして常盤校区社会福祉協議会にご厚志いただきました。

景山 宏様 ご令室 桂子様  
常盤校区社会福祉協議会

ぼやき川柳募集

寄稿をよろしく  
ふれあいセンターに「募集の箱」が置いてあります。

●ペンネーム可

ペリカンの声

卒業・入学・就職とあわただしいこの時期になるといつも思い出すことがある。

それは、中学時代に出会った小学校の新任教師と中学校のベテラン教師である。当時は、中学生が子ども会の面倒を見て、単位子ども会を担当する先生もいたので、小学校の先生との接点も多かった。ある日「作文のテストは嫌い」と言う話になって、将来役に立つからと、嫌々に特訓されてからの付き合い。

そして、中学校の先生からは実験レポートの指導をとことんされ、有り難迷惑にしか感じていなかった。高校を卒業するまで色々な場面で厄介になった。

将来を見透かされていたような思いの中、時は過ぎて、いつしか「仰げば尊し、我が師の恩・」を口ずさむようになり、目頭を熱くするこの時期である。